

第 5 分 科 会

広報・地域連携

【発信と連携】

討 議 題 魅力ある広報活動を通じた「学校・地域・家庭」の連携による社会教育の推進

討議の柱 1 魅力ある情報発信とは
2 生活環境および時代の変化に即した学校と地域のあり方

【討議題の趣旨】

「令和の時代のスタンダードな学校」としてGIGAスクール構想がスタートした。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、世の中全体にデジタル化、オンライン化を大きく促進し、学校教育においても学びを保証するため遠隔・オンライン教育に大きな注目が集まっている。

P T A活動においても、コロナ禍で活動が制限され、その形状の変化が余儀なくされてきた。新しい生活様式、活動内容が求められる中、P T A活動やそのその情報発信の要である広報活動においても、これまでとは違ったハイブリットな広報活動等新しい情報発信の形を模索していく必要がある。P T Aの魅力ある情報発信を討議を通して考えていきたい。

コロナ禍においては、学校ならではの協働的な学び合いや、地域の方々をはじめ多様な他者と協働した活動の重要性も再認識された。

そこで、本分科会では、地域の現状や取組等を通し、学校・家庭・地域が連携することで、子どもたちが社会とつながる協働的な学びの実現について討議していく。

子どもたちに持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自律的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成していくと共に、全ての子どもたちが生き生きと輝く未来を創るための社会と家庭をつなぐP T Aの役割を学び、持続可能な社会の創造を協働する方策を探る。

【討議の視点】

- 1 新型コロナウイルス感染症等による新しい生活様式を求められる中、これまでとは違った、ハイブリッドな広報活動について考える。
- 2 全ての子ども達が生き生きと輝く未来を創るため、社会と家庭をつなぐPTAの役割を学び、持続可能な社会の創造を協働する方策を探る。